2025年度上期

2026年5月1日

みやぎ生協　福祉活動助成金　助成活動報告書

団体名	一般社団法人 manaco
代表者名	中野柊一郎
連絡先 TEL：090-9748-6302 FAX：	E-mail　happy@manaco0501.com

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	宮城県でのオンラインを活用した不登校の子どもたちの育ちと学びのサポートと対面での体験活動の実施
事業の目的	宮城県は不登校児童生徒の割合が高く、支援機関ともつながっていない子どもが多く存在しています。対面での集団環境が合わず、インターネット空間を居場所と感じる子どもも増えています。不登校などを理由に、不安や悩み等を抱える宮城県内の小中高校生の居場所と学びの場づくりを目的に活動しています。
事業の具体的内容	【対象】宮城県内の不登校等により不安や悩みを抱える、居場所がない概ね6～18歳：約30名（随時登録制） 【実施内容】 1．オンラインでの個別の学習サポートや相談対応、レクリエーションを通した居場所づくり ●参加人数：29名 ●活動回数：677回 ●活動内容：子どもたちや家庭のニーズを基に実施 ・学習のサポート（説明型/問題解説型） ・日常生活、学校生活、将来に関すること等の相談 ・ボードゲームやクイズなどのレクリエーション 2．対面での体験活動の実施 ●参加人数：42名 ●活動回数：19回 ●活動内容：子どもたちや家庭のニーズを基に実施 ・公園で体を動かす。 ・自然や芸術に触れる。（虫取りや絵画など） ・ボードゲームやクイズなどのレクリエーション ●活動場所 ・戦災復興記念館 ・旭丘市民センター
活動の開始から完了までの流れ	【2025年9月～2026年3月】 ・オンラインでの学習サポートや相談対応、レクリエーション：1人週1回/30分～1時間

	・対面での体験活動やプロジェクトの企画/調整：月４回/1回１時間 ・ケース会議の実施：利用者１人当たり２ヶ月に１回/30分 【対面での体験活動やプロジェクト】 ●2025年９月 ・料理体験活動（たこ焼きづくり） ●2025年10月 ・ボードゲーム体験活動（ジグソーパズル） ・料理体験活動（スイーツづくり） ●2025年11月 ・描画体験活動 ・スポーツ体験活動 ●2025年12月 ・季節行事の体験活動（クリスマス会） ●2026年１月 ・季節行事の体験活動（正月） ・天文台の見学企画 ・ボードゲーム体験活動 ・ボードゲーム体験活動（ポケモンカード） ●2026年２月 ・料理体験活動（スイーツづくり） ・スポーツ体験活動 ●2026年３月 ・ボードゲーム体験活動 ・社会人野球の見学企画
活動の成果と教訓	本助成を活用した今年度の取り組みにおいて、昨年度より大きな発展があった。実際にオンラインの活動回数は昨年度に比べ1.4倍に増加し、累計2500回を超えた。背景には自治体や他の民間団体等との緊密な連携がある。連携している自治体での定期的な学校訪問や教育委員会との情報交換を積極的に実施した。オンラインの活動において、利用者の保護者からは「勉強に対して自主的に取り組むようになった」「前より他人と話せるようになった」という感想も多くあった。 また、今年度のオンラインの活動においては、子どもたちの興味関心ややりたいことを多く引き出すことができた。一人ひとりのニーズに合わせた活動を通して、子どもたちと信頼関係を構築し、様々な情報提供を行ったことで、興味関心の広がりが生まれたと考えている。 こうした子どもたちの興味関心・やりたいことの実現や伴走に取り組んだ結果、学校を長期間休み、学習意欲の低かった中学生が天文や気候に興味を示したため、仙台市天文台の見学を行った際には、「楽しかった。もっといろんなことを知りたい」とオンラインから対面の活

	動に繋がる様子も見られた。
今後の展望など	今年度の活動を通して、子どもたちへの「個別伴走」の必要性を強く実感した。これまでの対面の活動は集団や小集団での実施が中心であったが、オンラインから対面の活動へ、そして地域や社会へと子どもたちを繋いでいくためには、個別での丁寧な伴走が不可欠である。この知見を来年度以降の活動形式に反映させていきたい。 また、より多くの子どもたちに活動を届けるための組織基盤の構築も急務である。自治体や他団体との連携を通じ、当団体の活動を必要としている子どもたちが多くいることを改めて実感した。こうした子どもたちをより広く受け入れ、かつ積極的なアプローチを展開できるよう、組織体制の強化に努めたい。 近時、オンライン支援の必要性はますます高まっており、メタバースを活用した不登校支援に取り組む自治体も増加している。当団体は 2020 年から約 6 年間、2500 回以上のオンライン活動を積み重ねてきた。今後は、これまでのオンライン支援における活用例や実践例などのノウハウを広く発信していくことにも取り組んでいきたい。

2、助成金使途報告書

■　収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
福祉活動助成金	140,000 円	
自己資金	158 円	
合計	140,158 円	

■　支出の部

費目	内容	予算額（円）	実支出額
旅費交通費 **(福祉活動助成金)**	月 13,000 円×7 ヵ月 (駐車場代/ガソリン代)	140,000	90,260
会場費 **(福祉活動助成金)**	月 5,000 円×7 ヵ月)	56,000	33,180
物品購入費 **(福祉活動助成金)**	月 2,500 円×7 ヵ月	70,000	16,718
合計		266,000	140,158

＊用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

活動の様子がわかる写真

【ボードゲーム】



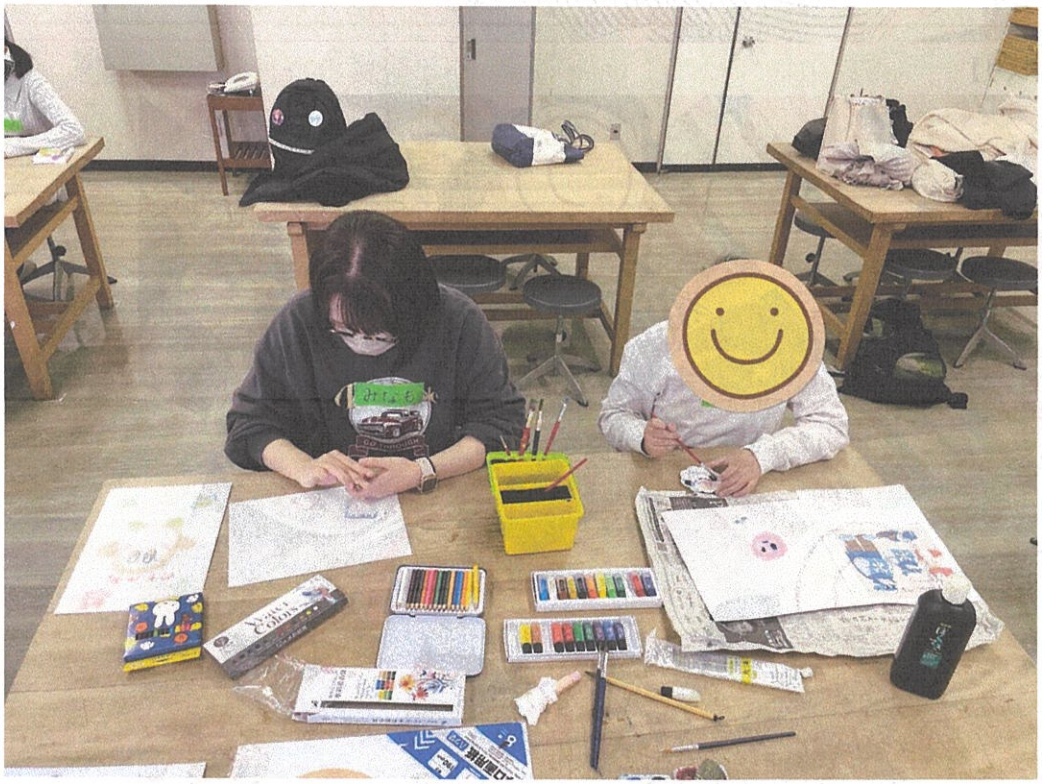
【たこ焼きづくり】



【スイーツづくり】



【絵画】



【ボードゲーム】

